

# 2023年 環境経営レポート

(対象期間 2023年 9月 ~2024年 8月)



発行日 2025年 4月 25日

**三京アムコ株式会社**

## 目 次

1. 組織の概要
2. 対象範囲
3. 環境経営方針
4. 実施体制
5. 対象期間の環境目標
6. 環境活動計画（取組内容）
  - 7-1. 環境目標の実績
  - 7-2. 環境経営計画の実績・取組結果と評価、並びに次年度の取組計画
  - 7-3. 次年度以降の環境目標
8. 環境関連法規などの遵守状況の確認 及び 評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無
9. 代表者による全体評価と見直し・指示

## 1. 組織の概要

### (1) 企業理念

三京アムコ株式会社は、適正な企業活動を通じて社会に貢献するため、経営者ならびに社員一人ひとりが果たすべき普遍的倫理価値を共有し、これを誠実に実践いたします。

### (2) 取組の対象組織・活動

#### ① 名称及び代表者

三京アムコ株式会社  
代表取締役社長 榊原 輝雄

#### ② 所在地

- ・ 本社 愛知県刈谷市一ツ木町7丁目1-3
  - ・ 豊橋営業所 愛知県豊橋市東脇3丁目15-5
  - ・ 福岡宮若営業所 福岡県宮若市金丸289番1
  - 仙台営業所 宮城県仙台市宮城野区日の出町3丁目4-21
  - 岩手北上営業所 岩手県北上市本通4丁目8-28 伊藤ビジネスハイツG4号室
- ※ 仙台営業所、岩手北上営業所については、2026年6月に認証・登録を計画

#### ③ 環境管理責任者及び担当者連絡先

【新任】 環境管理責任者	取締役営業本部長	寺嶋 隆寛	TEL:0566-24-2211
環境管理責任者	専務取締役	佐藤 直彦	(~2024年10月迄)
EA21事務局	参与	磯部 慎一	TEL:0566-24-2211

#### ④ 事業内容

プラスチック・ゴム及び金属加工品などの、企画・開発・製造・販売  
及び建設工事（とび、管工、内装仕上）

#### ⑤ 創業年月日

創業年月日：1980年  
事業年度：9月1日～8月31日

#### ⑥ 事業規模

資本金：1,000万円  
売上高：482,784万円（2024年8月期）  
従業員数：82名（本社69名 豊橋4名 福岡宮若5名 岩手北上2名 仙台2名）

## 2. 対象範囲

### (1) 名称及び代表者

三京アムコ株式会社

代表取締役社長 榊原 輝雄

### (2) 対象範囲及び所在地

- ・本社 愛知県刈谷市一ツ木町7丁目1-3
- ・豊橋営業所 愛知県豊橋市東脇3丁目15-5
- ・福岡宮若営業所 福岡県宮若市金丸289番1
- 仙台営業所 宮城県仙台市宮城野区日の出町3丁目4-21
- 岩手北上営業所 岩手県北上市本通4丁目8-28 伊藤ビジネスハイツG4号室

※仙台営業所、岩手北上営業所については、2026年4月の更新審査時に認証を計画

### (3) レポートの対象期間

対象期間 2023年9月～2024年8月

### 3. 環境経営方針

## 環境経営方針

### 〈 基本理念 〉

三京アムコ株式会社は事業活動を通し、地球環境の保護と維持向上に努め、企業の社会的責任を果たす為、環境活動を推進する。

### 〈 行動指針 〉

三京アムコ株式会社は、地球環境にやさしいクリーンで安全な製品を扱うことを基本とし、お客様・仕入れ先様と連携をはかり、事業活動のあらゆる面で、安全で安心していただける商品を効率よく社会に提供するため、以下の行動指針を定め環境保全活動を実施する。

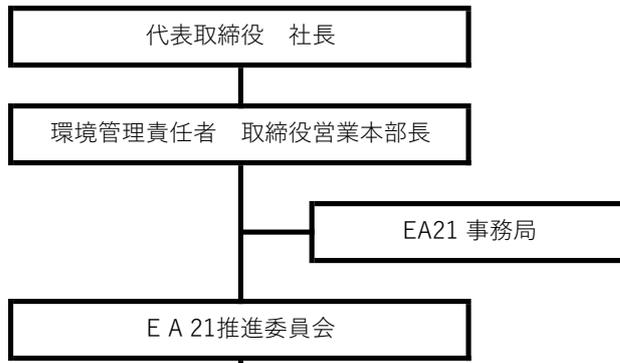
1. 環境関連の法律、条例、規則及び当社が同意するその他の社会的要求事項を遵守します。
2. 事業活動において環境に与える影響を評価・特定し、環境経営目標・計画を定め定期的な見直しを行ない、継続的に環境保全活動に取り組みます。  
【環境負荷の低減実施事項】
  - ① 使用電力の削減
  - ② ガソリン、軽油等の化石燃料使用量の削減
  - ③ 水の使用量の削減
  - ④ 一般廃棄物、産業廃棄物の削減
3. ライフサイクルアセスメントに基づいた「環境にやさしい」商品開発を行ない、社会に提供するよう取り組みます。
4. 持続可能な社会の実現に向けた活動に取り組みます。
5. 従業員並びに関係者に対し環境経営方針を周知させると共に、環境保全活動に必要な従業員教育を行ない理解と意識の向上に努めます。
6. 環境経営方針の内容を社内外に公開します。

制定 2021年8月1日  
三京アムコ株式会社  
代表取締役社長 榊原輝雄

4.実施体制

【2024年度】 24年 11月 1日 組織表適応

- EA21推進委員
- ・委員長：取締役営業本部長
  - ・専務取締役
  - ・業務部 取締役
  - ・経理部 監査役
  - ・管理部 リーダー
  - ・営業2部 リーダー
  - ・営業5部 リーダー
  - ・営業8部 リーダー
  - ・豊橋営業所 所長
  - ・福岡宮若営業所 所長
  - ・仙台営業所 所長
  - ・岩手北上営業所 所長



★ 1

★ 2 ※

仙台、岩手北上の2つの事業所は、2026年6月の段階認証を計画

※ Lはリーダー、TLはチームリーダーの略

	役割・責任・権限
代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営活動に関する統括責任及び環境管理責任者を任命</li> <li>・環境経営計画の実施に必要な設備、費用、時間、技術者を準備、提供する</li> <li>・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>・環境目標・環境経営活動計画書及び環境経営レポートの承認</li> <li>・代表者による全体の評価と見直しを実施</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営計画の構築、実施、管理、及びEA21推進委員会の設置と開催</li> <li>・環境経営計画を推進し、目標の達成を図る</li> <li>・EA21推進委員会の委員の任命</li> <li>・部門責任者の任命</li> <li>・環境目標・環境経営活動計画書を確認</li> <li>・環境経営活動の取組結果を代表者へ報告・環境経営活動レポートの確認</li> </ul>
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の運営管理</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーション窓口</li> <li>・環境経営活動レポートの作成、公開（社内展開と地域事務局への送付）</li> </ul>
EA21推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員長及び議長は環境管理責任者が兼務する</li> <li>・環境管理責任者より任命された推進委員によりEA21推進委員会を運営する</li> <li>・開催頻度は2ヶ月に1回以上とし、環境経営活動を推進する</li> <li>・環境目標、環境経営活動計画書原案の作成</li> <li>・全体、自部門における環境経営活動の実施及び実績と達成状況の報告</li> </ul>
部門責任者 ★ 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自部門における環境経営システムの実施</li> <li>・自部門における環境経営方針の周知</li> <li>・自部門に関連する環境経営活動計画の実績と達成状況の報告</li> <li>・自部門への環境情報連絡と対策依頼書の確認及び再発防止策を確認する</li> </ul>
環境担当者 ★ 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> <li>・自部門の環境経営活動を推進、確認、実績を把握し部門責任者に報告</li> <li>・担当部署の環境情報連絡／対策依頼書の確認・対策の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営活動へ参加</li> </ul>

## 5. 対象期間の環境目標

## (1) 目標値

【認証3事業所合計】 2023年度（対象期間 2023年9月～2024年8月）

項 目	単 位	2020年度	2022年度	2023年度目標
		基準値	基準値の-2%	基準値の-3%
CO <sub>2</sub> 排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	234,124	229,442	227,100
電力使用量	kWh	136,323	133,597	132,233
ガソリン使用量	L	70,981	69,561	68,852
軽油使用量	L	6,447	6,318	6,254
都市ガス使用量	m <sup>3</sup>	1,078	1,056	1,046
L P ガス使用量	m <sup>3</sup>	8.4	8.2	8.1
水道使用量削減	m <sup>3</sup>	355	348	344
一般ごみ削減	kg	2,287	2,241	2,218
産業廃棄物削減	kg	14,725	14,431	14,427
環境に配慮した 工事施工	CO <sub>2</sub> 削減・環境活動 に配慮する	実施	実施	実施
かんぱん関連商品拡販	千円	136,475	139,205	140,569

- かんぱんケース関連商品の販売を年1%ずつ増やして、お得意様の業務効率を上げます。
- 基準値は2020年の実績値等を基に策定した。
- 電力のCO<sub>2</sub>調整後排出係数は中部電力管内「0.377kg-CO<sub>2</sub>/kWh」、九州電力管内「0.371kg-CO<sub>2</sub>/kWh」を適用した。いずれも、2019年度の排出係数を用いた。
- ガソリン換算値「2.32kg-CO<sub>2</sub>/ℓ」軽油「2.58kg-CO<sub>2</sub>/ℓ」を用いた。
- 都市ガスは換算値「2.23kg-CO<sub>2</sub>/m<sup>3</sup>」、L P ガス「6.6kg-CO<sub>2</sub>/m<sup>3</sup>」を用いた。
- 2021年度以降の電力のCO<sub>2</sub>調整後排出係数は各年度の電力会社の公示値を適用した。

単位:kg-CO <sub>2</sub> /kWh	中部電力	九州電力
2020年度	0.377	0.371
2022年度	0.459	0.453
2023年度	0.421	0.406

- 豊橋、福岡宮若の一般ごみ、産業廃棄物は2021年度を基準値とし目標を策定した。
- ※ 2021年度は現状把握期間とした。

## (2) 事業所別環境目標値 2023年度（対象期間 2023年9月～2024年8月）

項 目	単 位	本 社	豊橋営業所	福岡宮若営業所
CO <sub>2</sub> 排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	184,143	25,169	17,972
電力使用量	kWh	108,664	12,238	11,449
ガソリン使用量	L	57,730	5,615	5,563
軽油使用量	L	3,262	2,991	—
都市ガス使用量	m <sup>3</sup>	1,045	—	—
L P ガス使用量	m <sup>3</sup>	—	—	8.2
水道使用量削減	m <sup>3</sup>	282	25	37
一般ごみ削減 ※	kg	2,218	88	512
産業廃棄物削減 ※	kg	12,541	1,868	1,372
環境に配慮した 工事施工	CO <sub>2</sub> 削減・環境活動 に配慮する	配慮する	配慮する	配慮する
かんぱん関連商品拡販	千円	112,341	22,215	6,013

- 豊橋、福岡宮若の一般ごみ、産業廃棄物は2021年度を基準値とし目標を策定した。

## 6. 環境活動計画（取組内容）

環 境 活 動 計 画（取組内容）
<p>1.使用電力量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①エアコンの省エネ設定の徹底（夏 28℃ 冬 20℃） 安衛法 事務所規則に準じた空調管理を行う。</li> <li>②高効率型変圧器による変圧ロス電力の削減</li> <li>③使用していないパソコン等の主電源は切る。</li> <li>④パソコン、コピー機、印刷機等は、省エネ設定をする。</li> <li>⑤空調機のフィルターの掃除やメンテナンスを行う。</li> <li>⑥FIT制度期限満期への対応準備を始める。</li> </ul>
<p>2.化石燃料（ガソリン、軽油）使用量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①急発進、無駄なアイドリングなど控え、エコ運転をする。</li> <li>②社有車の低燃費化、電動化の推進。</li> <li>③社有車の整備点検を行い、燃費効率を良くする。</li> </ul>
<p>3.水道使用量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①手洗い、洗い物時に節水を心がける。</li> <li>②シャワー使用時、トイレ使用時の積極的な節水に心掛ける。</li> </ul>
<p>4.リデュース、リユース、リサイクル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①詰め替え可能な製品に置き換える。</li> <li>②ごみの分別収集を徹底する。</li> <li>③裏紙再利用を推進する。</li> <li>④持ち込みごみを減らす。</li> </ul>
<p>5. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①安全に配慮した工事施工⇒ 作業前・作業後、K Yミーティングの徹底する。</li> <li>②環境に配慮した工事施工⇒ 作業前・作業後、K Yミーティングの徹底する。</li> <li>③「環境にやさしい」製品の開発を進める。</li> </ul>

### 【活動の推進体制】

- ①各部門の環境担当者が活動責任者を定め活動する。
- ②本社、各営業所ごとに毎月15日に告知される環境負荷実績の確認をし、評価・対策を行う。
- ③本社、各営業所ごとに毎月25日に告知される燃料消費実績の確認をし、評価・対策を行う。

### 【スケジュール】

年度初期に環境経営計画を策定し、毎月の実績評価により、年央で計画を見直す。  
年度末の全体評価を踏まえ、次年度の環境経営計画を策定する。

## 7-1. 環境目標の実績

【認証3事業所合計】 2023年度（対象期間 2023年9月～2024年8月）

項目	単位	目標	実績	目標値増減率	評価
CO2排出量の削減	kg-CO2	227,100	222,592	-2.0%	○
電力使用量	kWh	132,233	133,961	1.3%	×
ガソリン使用量	L	68,852	64,119	-6.9%	○
軽油使用料	L	6,254	5,509	-11.9%	○
都市ガス使用量	m <sup>3</sup>	1,046	1,583	51.4%	×
L P ガス使用量	m <sup>3</sup>	8.1	0.0	-100.0%	○
水道使用量削減	m <sup>3</sup>	344	438	27.2%	×
一般ごみ削減 ※1	kg	2,218	1,925	-13.2%	○
産業廃棄物削減	kg	14,427	5,514	-61.8%	○
環境に配慮した 工事施工	CO <sub>2</sub> 削減・環境 活動に配慮する	達成	実施	実施	○
かんぱん関連商品拡販	千円	140,569	100,514	-28.5%	×

※1：目標設定基準年の2020年度は廃棄物の全てについて記録を行っていません。

## (2) 事業所別環境目標の実績

【本 社】

項目	単位	目標	実績	目標値増減率	評価
CO2排出量の削減	kg-CO2	184,143	177,229	-4%	○
電力使用量	kWh	108,664	100,580	-7%	○
ガソリン使用量	L	57,730	53,151	-8%	○
軽油使用料	L	3,262	3,118	-4%	○
都市ガス使用量	m <sup>3</sup>	1,045	1,583	51%	×
水道使用量削減	m <sup>3</sup>	282	383	36%	×
一般ごみ削減 ※2	kg	2,218	1,201	-46%	○
産業廃棄物削減	kg	12,541	3,616	-71%	○
環境に配慮した 工事施工	CO <sub>2</sub> 削減・環境 活動に配慮する	達成	実施	実施	○
かんぱん関連商品拡販	千円	112,341	93,602	-17%	×

※2：目標設定基準年の2020年度は廃棄物の全てについて記録を行っていません。

## 【豊橋営業所】

項目	単位	目標	実績	目標値増減率	評価
CO2排出量の削減	kg-CO2	25,169	24,728	-1.8%	○
電力使用量	kWh	12,238	13,224	8.1%	×
ガソリン使用量	L	5,615	5,600	-0.3%	○
軽油使用料	L	2,991	2,391	-20.1%	○
都市ガス使用量	m <sup>3</sup>	—	—	—	—
水道使用量削減	m <sup>3</sup>	24.7	23.0	-6.9%	○
一般ごみ削減 ※3	kg	88	274	211.4%	×
産業廃棄物削減	kg	1,868	1,898	1.6%	×
環境に配慮した 工事施工	CO <sub>2</sub> 削減・環境 活動に配慮する	達成	実施	実施	○
かんぱん関連商品拡販	千円	22,215	5,066	-77.2%	×

※ 3：目標設定基準年の2020年度は一般ごみは産業廃棄物として記録しています。(自治体条例に準拠)

## 【福岡宮若営業所】

項目	単位	目標	実績	目標値増減率	評価
CO2排出量の削減	kg-CO2	17,789	20,635	16.0%	×
電力使用量	kWh	11,332	20,157	77.9%	×
ガソリン使用量	L	5,506	5,368	-2.5%	○
軽油使用料	L	—	—	—	—
L P ガス使用量	m <sup>3</sup>	8.1	0.0	-100.0%	○
水道使用量削減	m <sup>3</sup>	36.6	31.5	-13.9%	○
一般ごみ削減 ※4	kg	512	450	-12.1%	○
産業廃棄物削減※4	kg	1,372	0	-100.0%	○
環境に配慮した 工事施工	CO <sub>2</sub> 削減・環境 活動に配慮する	達成	実施	—	○
かんぱん関連商品拡販	千円	6,013	1,846	-69.3%	×

※ 4：目標設定基準年の2020年度は廃棄物の全てについて記録を行っていません。

## 7-2. 環境経営計画の実績・取組結果と評価、並びに次年度の取組計画

環 境 活 動 計 画	評 価
<p>1.使用電力量の削減</p> <p>①エアコンの省エネ設定の徹底（夏 28℃ 冬 20℃） 安衛法 事務所規則に準じた空調管理を行う。</p> <p>②高効率型変圧器による変圧ロス電力の削減</p> <p>③使用していないパソコン等の主電源は切る。</p> <p>④パソコン、コピー機、印刷機等は、省エネ設定をする。</p> <p>⑤空調機のフィルターの掃除やメンテナンスを行う。</p> <p>⑥FIT制度期限満期への対応準備を始める。</p>	○
<p>コメント（次年度の計画を含む）</p> <p>空調管理において、空調系統ごとに温湿度計を設置し最適稼働の見える化に取組む。</p> <p>電力会社からの時間毎消費電力の記録を毎月確認し、節電に対する意識を高める。</p> <p><u>生エネ電力への切替を検討し、自家発電設備との効果的な活用に取り組む。</u></p>	
<p>2.化石燃料（ガソリン、軽油）使用量の削減</p> <p>①急発進、無駄なアイドリングなど控え、エコ運転をする。</p> <p>②社有車の低燃費化、電動化の推進。</p> <p>③社有車の整備点検を行い、燃費効率を良くする。</p>	×
<p>コメント（次年度の計画を含む）</p> <p>環境目標の改訂により、低燃費車による効果だけに頼らない行動(運転) に取組む。</p> <p>来年度に対応する実績値の追求に全力を尽くす。</p> <p>繁忙による走行距離の増加は、燃費の向上により燃料消費量の増加を抑える意識付けを行う。</p> <p><u>「エコドライブ10のすすめ」に基づく毎日の点検をデータベースに記録し見える化を行う。</u></p>	
<p>3.水道使用量の削減</p> <p>①手洗い、洗い物時に節水を心がける。</p> <p>②シャワー室の使用時、トイレ使用時の積極的な節水に心掛ける。</p>	×
<p>コメント（次年度の計画を含む）</p> <p>福利厚生設備として、シャワー室が設置されました。適正な運用による消費量を把握し、目標値を設定します。来年度に対応する実績値の追求に全力を尽くす。</p>	
<p>4.リデュース、リユース、リサイクル</p> <p>①詰め替え可能な製品に置き換える。 ②ごみの分別収集を徹底する。</p> <p>③使い捨て製品の使用を極力減らす。 ④持ち込みごみを減らす。</p>	×
<p>コメント（次年度の計画を含む）</p> <p>廃棄物の分別により、3Rへの適応を推進する。</p> <p>廃プラ、木くずの3R対応可能な廃棄物業者の選定する。来年度に対応する実績値の追求に全力を尽くす。</p> <p><u>印刷時に適正なサイズの用紙を選択する。（A4用紙からA5用紙への変更、印刷の縮小化）</u></p>	
<p>5. その他</p> <p>①安全に配慮した工事施工⇒ 作業前・作業後、KYミーティングの徹底する。</p> <p>②環境に配慮した工事施工⇒ 作業前・作業後、KYミーティングの徹底する。</p> <p>③「環境にやさしい」製品の開発を進める。</p>	○
<p>コメント（次年度の計画を含む）</p> <p>環境経営目標にある、「かんばんケース」の販売が右肩下がりにある。表示かんばんとしての利用需要が減少している。お客様の製品管理のDX化が進んでおり、製品表示のワンウェイ化により減少している。</p> <p>前年度比較に対して一年全体を見直しを行い、来年度に対応する実績値の追求に全力を尽くす。</p> <p>工事により排出されるゴミ（産廃）の管理を記録し、環境法令を遵守します。</p>	

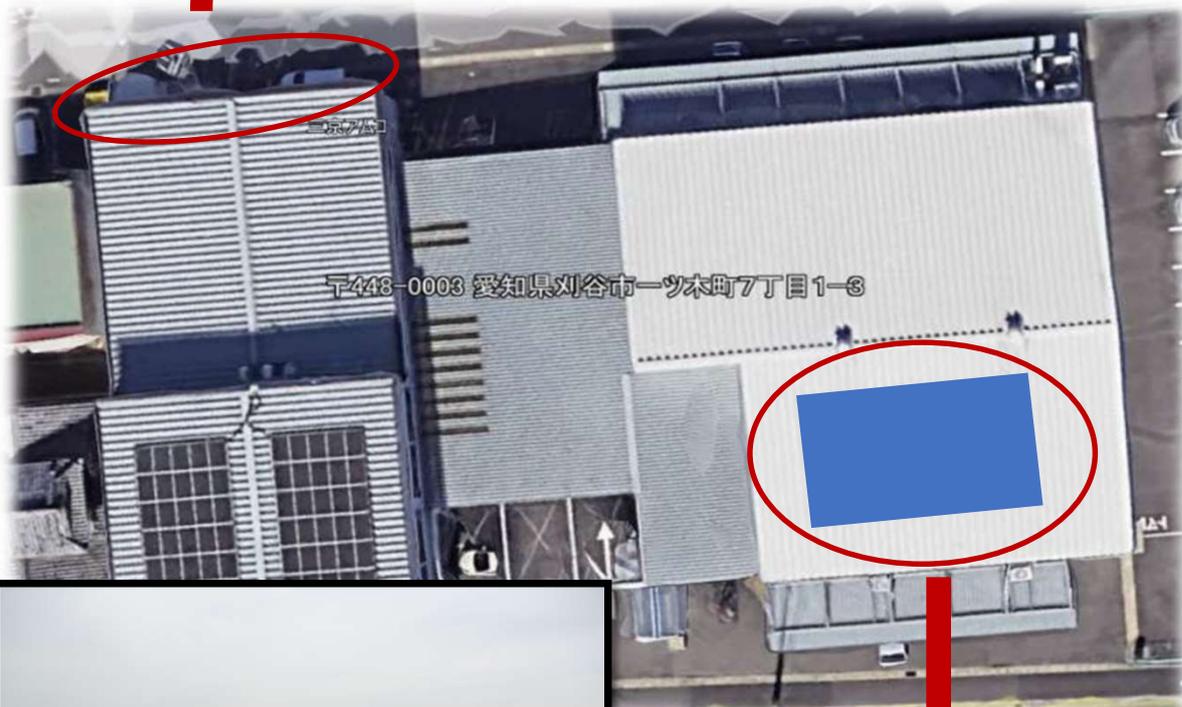
次年度以降の環境目標値は「7-3.次年度以降の環境目標」を参照。

環境活動の取組事例（写真等）

【再エネ電力】

- 1. 太陽光発電の自家消費
- 2. 蓄電設備による非常時の電源確保（BCP対応）
- 3. 災害時における地域住民への携帯電話用電源の提供

蓄電池能力 15kwh



太陽電池出力29.88kw

## 7-3. 次年度以降の環境目標

(1) 短・中期環境目標（年率1%削減）

【2024年度からの環境目標】

【全社合計】

項目	単位	(2023年)	2024年目標	2025年目標	2026年目標
		基準値	基準値の-1%	基準値の-2%	基準値の-3%
CO2排出量の削減	kg-CO2	222,592	220,366	218,140	215,914
電力使用量	kWh	133,961	132,621	131,282	129,942
ガソリン使用量	L	64,119	63,478	62,837	62,195
軽油使用量	L	5,509	5,454	5,399	5,344
都市ガス使用量	m <sup>3</sup>	1,583	1,567	1,551	1,536
L P ガス使用量	m <sup>3</sup>	4.0	4.0	3.9	3.9
水道使用量削減	m <sup>3</sup>	430	426	421	417
一般ごみ削減	kg	1,925	1,906	1,887	1,867
産業廃棄物削減	kg	5,549	5,494	5,438	5,383
環境に配慮した 工事施工	CO <sub>2</sub> 削減・環境活動に 配慮する		達成	達成	達成

- 基準値は2020年の実績値等を基に策定した。
- 電力のCO<sub>2</sub>調整後排出係数は中部電力管内「0.421kg-CO<sub>2</sub>/kWh」、九州電力管内「0.406 kg-CO<sub>2</sub>/kWh」を適用した。いずれも、2023年度の調整後排出係数を用いた。
- ガソリン換算値「2.32kg-CO<sub>2</sub>/ℓ」軽油「2.58kg-CO<sub>2</sub>/ℓ」を用いた。
- 都市ガスは換算値「2.23kg-CO<sub>2</sub>/m<sup>3</sup>」、L P ガス「6.6kg-CO<sub>2</sub>/m<sup>3</sup>」を用いた。

(2) 2024年度 事業所別環境目標（2023年度を基準に毎年1%削減する）

項目	単位	本 社	豊橋営業所	福岡宮若営業所
CO2排出量の削減	kg-CO2	184,143	25,169	17,789
電力使用量	kWh	108,664	12,238	11,332
ガソリン使用量	L	57,730	5,615	5,506
軽油使用量	L	3,262	2,991	—
都市ガス使用量	m <sup>3</sup>	1,045	—	—
L P ガス使用量	m <sup>3</sup>	—	—	8.1
水道使用量削減	m <sup>3</sup>	282	25	37
一般ごみ削減	kg	2,218	88	512
産業廃棄物削減	kg	12,541	1,868	1,372

## 8. 環境関連法規などの遵守状況の確認 及び 評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

【主な環境関連法規・条例】		評価
①廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）、廃棄物処理法施行令 ②廃棄物の適正な処理の促進に関する条例（愛知県条例） ③福岡県産業廃棄物の不適正処理の防止に関する条例（福岡県条例）		○
・保管施設の表示と保管基準の遵守 ・収集運搬業者及び処分業者との適切な委託契約 ・委託契約書の保管 ・マニフェストの管理、保管 ・マニフェスト交付等の状況報告	表示板掲示 契約書・業者の認可証 5年間保管 5年間保管（A・B2・D・E票） 関係監督官庁へ毎年度報告	
④県民の生活環境の保全等に関する条例（愛知県条例） 条例に基づき、刈谷市と豊橋市に設備の設置届出を行っている。 ⑤福岡県公害防止等生活環境の保全に関する条例（福岡県条例） 条例に基づく届出に該当する設備はない。		○
⑥自動車から排出される窒素酸化物及び浮遊粒子状物質の特定地域（愛知県内） における総量の削減等に関する特別措置法（自動車NOx・PM法）		○
・愛知県内で30台以上の自動車を使用する 特定事業者	毎年6月末までに「自動車使用管理実績報告書」の提出 令和8年度末までの「自動車使用管理計画書」の提出	
⑦資源の有効な利用の促進に関する法律（資源有効利用促進法）		○
・リデュース、リユース、リサイクルの促進	←	
⑧特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）		○
・特定4品目を廃棄する際、収集運搬料金とリサイクル料金を支払うことなど	←	
⑨使用済小型電子機器等々の再資源化の促進に関する法律（小型家電リサイクル法）		○
・家電リサイクル法で特定された以外の28種類の品目においてリサイクルの推進	対象品目の確実な分別	
⑩使用済み自動車の再資源化等に関する法律（自動車リサイクル法）		○
・使用済みとなった自動車を引取業者に引渡すこと	←	
⑪フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）		○
・業務用エアコンの点検 ・2023年10月 業務用エアコン2台を廃棄 フロン廃棄処理の報告書を保管（3年間）	簡易点検：3カ月ごとに1回（全て） 定期点検：3年に1回以上 （7.5Kw以上50Kw未満） 点検などの履歴の記録：3年間保管	
⑫下水道法		○
・特定施設がなく、最大排出量が51m <sup>3</sup> /日未満	適切な排水設備の設置	

- ・上記環境関連法規については、活動期間中、関係当局より環境関連法規等に関する、違反・苦情等の指摘及び訴訟等はありませんでした。
- ・環境関連法規は2025年2月25日時点の改正状況を確認して判定しております。

### 9. 代表者による全体評価と見直し結果

2024年12月から	環境管理責任者（取締役営業本部長）	寺嶋隆寛
2024年11月まで	環境管理責任者（専務取締役）	佐藤直彦

2021年9月（弊社会計年度）から「環境経営方針」を掲げ、「環境保全への行動指針」を定めて環境経営活動取り組んでまいりました。活動3年目の状況としましては、特に廃棄物の削減について、分別の徹底と処理方法を具体的に選定し「3R」への移行対応が出来たことにより、目標に対して大幅な削減を達成することが出来ました。

二酸化炭素排出量の削減については、廃棄物の削減による効果だけでなく、2024年4月17日から稼働した太陽光発電と蓄電池により電力量を削減したことが要因になっております。2023年度の太陽光発電の効果は4ヵ月余りになりますが、2024年度以降にはさらなる電力量の削減を想定しております。

これまでは設備機器等による環境負荷低減が主な環境経営活動の施策になっておりましたが、2022年度から試行取組みを行っていた「小集団活動」を2024年度から全社展開する準備が整いつつあります。従業員自身の提案による環境経営活動の成果が見られることを楽しみにしております。

環境管理責任者を交代したことにより、今まで以上に従業員の近くでエコアクション21を進め、部門責任者だけでなく全従業員の意識を共有して、目標達成に向けて努力をしていきます。

#### ○ 次年度以降の見直し

- ① 刈谷本社
  - ・ 本社の各部署において「小集団活動」のキックオフ
  - ・ 省エネルギー補助金の活用による変圧器の交換（高効率型、低濃度PCB廃棄物への対応）
- ② 豊橋営業所
  - ・ 産業排出物の3Rへ対応（最終処分方法の見直し）
  - ・ 一般ゴミの排出量基準の見直し（コロナ禍の基準値設定を精査）
  - ・ 「小集団活動」のキックオフ
- ③ 福岡宮若営業所
  - ・ 省エネ環境の検討（事務所及び倉庫の断熱改装）
  - ・ 「小集団活動の」の定着化（PDCAサイクルの思考力向上）
  - ・ 福岡県「エコ事業所」認定の継続活動

次年度以降については、今回策定した環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画を堅持し、継続的な改善活動に努めます。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更有
環境経営目標・計画	<input type="checkbox"/> 変更なし	<input checked="" type="checkbox"/> 変更有
実施体制	<input type="checkbox"/> 変更なし	<input checked="" type="checkbox"/> 変更有

発行日 2025年 3月 20日  
 三京アムコ株式会社  
 代表取締役社長 榊原輝雄